

格付けの更新について

広島信用金庫（理事長 川上 武）では、株式会社日本格付研究所（ＪＣＲ）より、前回に続き、格付「Ａ」（シングルＡフラット）を取得しましたので、お知らせいたします。

記

１．格付結果

格付け対象	長期発行体格付
格付け	『Ａ』（シングルＡフラット） 【前回と変更なし】
格付け見通し	『安定的』 【前回と変更なし】

２．格付事由

- ・格付は、相応の収益力、小口分散の効いた貸出資産の質、リスク対比で充実した資本などを反映している。
- ・コア業務純益は安定的に推移しており、ＲＯＡは０．２％台半ばを確保している。
- ・小口分散を効かせた与信運営などにより、与信費用が多額となるリスクは小さい。
- ・市場部門では、デュレーションの長期化と債券残高の増加に伴い、円貨債券の金利リスク量がやや大きくなっている。足元では円貨債券の評価損が膨らんでおり、その動向に注目していく。
- ・資本は高い水準が確保されている。保有債券の時価変動に伴う実質的な資本水準への影響は現状、軽微にとどまっている。

３．取得日 令和6年10月24日

◎ご参考：長期発行体格付の定義

ＡＡＡ	債務履行の確実性が最も高い。
ＡＡ	債務履行の確実性は非常に高い。
Ａ	債務履行の確実性は高い。
ＢＢＢ	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来債務履行の確実性が低下する可能性がある。
ＢＢ	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
Ｂ	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
ＣＣＣ	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
ＣＣ	債務不履行に陥る危険性が高い。
Ｃ	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
ＬＤ	一部の債務について約定どおりの債務履行を行っていないが、その他の債務については、約定どおりの債務履行を行っているとしてＪＣＲが判断している。
Ｄ	実質的にすべての金融債務が債務不履行に陥っているとＪＣＲが判断している。

※ＡＡからＢまでの格付記号には同一等級内の相対的な位置を示す区分として、「プラス（＋）」、「フラット（符号なし）」、「マイナス（－）」の三段階があります。

※長期発行体格付とは、債務者（発行体）の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。